



増大する冷房負荷に対して、電力の平準化や限られたスペースでの蓄熱量の増強が求められています。

『ストラサーム・I』は、氷の潜熱を利用することにより蓄熱量の増加をはかります。

氷蓄熱の一般的な特徴

- ・氷の潜熱利用による高密度蓄熱が可能。
- ・水蓄熱に比べて蓄熱槽の小型化が可能。
- ・低温冷水が安定して取り出せる。

ストラサーム・Iのシステム

- ・冷房負荷増大に対して、契約電力を増やすことなく対応が可能。
- ・夜間蓄熱運転により、夜間電力の使用割合が増え電力平準化（ピークカット）が可能。
- ・リニューアル時の蓄熱量の増強には、既存の蓄熱槽を利用した対応も可能。

ストラサーム・Iの特徴

(1) 設置に自由度がある

現場築造型のため、製氷機、冷凍機、蓄熱槽の配置制約が少ない。

(2) 安定した製氷運転

独自過冷却解除器で安定して氷水スラリが生成できる。

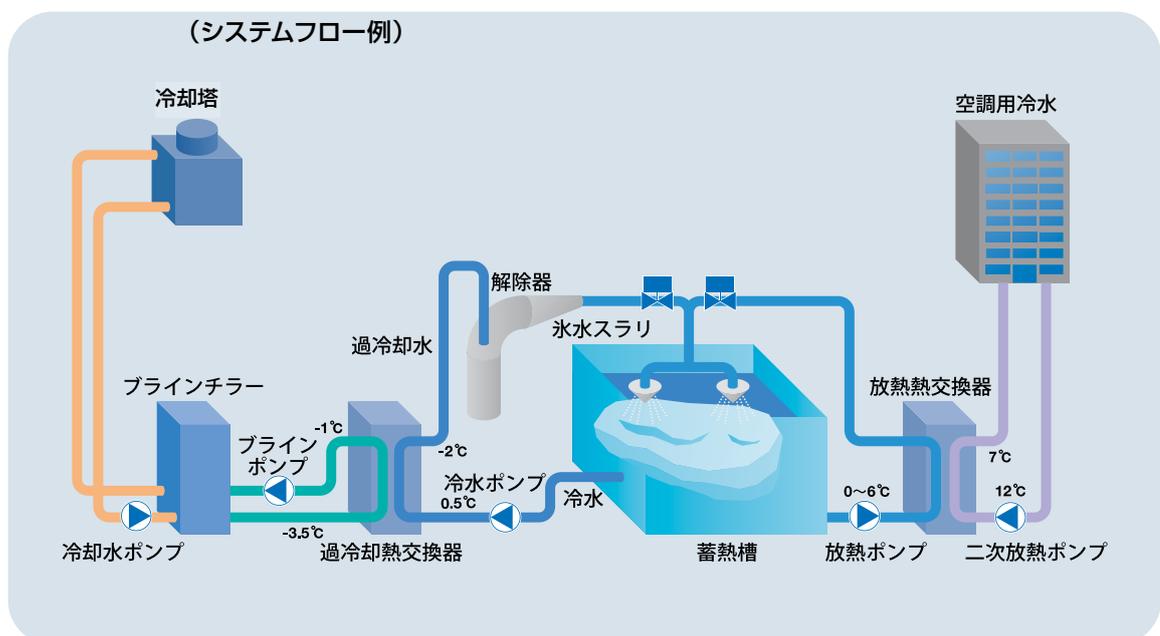
(3) リニューアルに最適

冷房負荷増大による蓄熱量増強には、既設の水蓄熱槽を利用して、氷蓄熱槽への変換対応が可能。

(4) 優れた解氷特性

短時間に大容量かつ安定した低温冷水が取り出せるため、ピーク負荷時の電力利用量低減に有効。

ストラサーム・Iのシステム



ストラサーム・Iの事例紹介

(弊社研究開発センターにて稼働中)

放熱運転時の冷水取出し温度特性

(放熱条件：3時間ピークカット負荷対応，槽内攪拌)



蓄熱槽内部



過冷却解除器 (氷核発生器) まわり



蓄熱槽まわり
(地下蓄熱槽にも適用可能)